

「Fukuoka Art Next」今月のアート（5月）

福岡市は、彩りにあふれたアートのまちを目指して、暮らしのなかで身近にアートに触れる機会を増やし、アーティストの成長支援に取り組む「Fukuoka Art Next」を推進します。

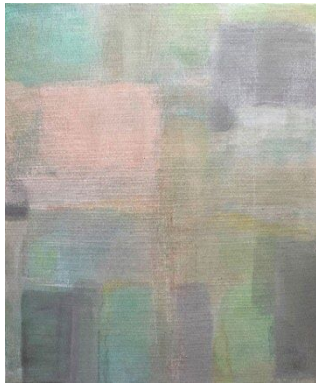
市民がアートを身近に感じられるよう、福岡で活躍しているアーティストの作品を、月初めの定例会見において紹介します。

■ アーティストについて

稲光 亜記（いなみつ あき）

1973年福岡市生まれ、福岡市在住。東京造形大学美術学科彫刻専攻卒業。東京でグラフィックデザインなどの仕事に取り組んだのち、2011年に帰郷。現在、福岡市を拠点に芸術活動を展開している。

■ 作品について



作家名 : 稲光 亜記
作品名 : やわらかな光
制作年 : 2023年
材質技法 : アクリル・ソフトパステル・画布
サイズ : 60.6 × 50.0 (cm)

青緑、黄緑、桃、灰など、淡く優しい色が組み合わせられています。作家は、この作品について、いくつもの風景から得た印象を組み合わせた風景画だといいます。緑の部分は新緑を、灰色の部分はコンクリートのような人工物をイメージして描かれました。タイトルとなる「やわらかな光」の奥に、いくつもの風景の断片が折り重なるように広がるさまは、新緑が美しい5月の街を思い起こさせます。

【お問い合わせ先】

経済観光文化局美術館学芸課 担当：ラワンチャイクン、後藤

TEL：714-6054 FAX：714-6145 E-mail：rawan@fukuoka-art-museum.jp